

それから、落差約107.4mで発電が行われています。発電量は、3万7500キロワットで、できた当時は、世界各国から有名な技術者を集めて建設されたため、日本でも最優秀の設備を誇っていました。

### ○猪苗代第二発電所

1916年（大正5年）7月に猪苗代第二発電所の建設が始まりました。発電に使われる水は、第一発電所の下流の日橋川をせき止めて取水されます。その水は、全長約1229mの水路を通り、長さ約59m、幅約32m、深さ5.23m～6.7mの貯水槽にためられます。それから、落差約68.1mで発電が行われます。発電量は、2万4000キロワットでした。



▲ 猪苗代第二発電所

### ○猪苗代第三発電所

1924年（大正13年）12月23日に猪苗代第三発電所の建設が始まりました。この発電所は、関東大震災（東京を中心とした大地震）の復興のためにも、早く完成させなければならぬものでした。そのため、工事は昼も夜も行われ、1926年（大正15年）1月3日に完成しました。



▲ 猪苗代第三発電所